

感動の合唱コンクール

12月9日（金）、二学期の最後の大きな行事である合唱コンクールが開催されました。一学期中に各クラスでの選曲、伴奏者は夏休みから練習と約5か月前から準備が始まっています。文化祭が終わって指揮者の決定、音楽の授業での音とりと順序をおっての取り組み。11月の半ばから朝、授業中、終礼時、放課後の割り当て練習と校内では合唱の音が常に聞こえてきました。そして12月の期末テスト終了後からは本格的な合唱の音が響いてきて生徒の表情もやる気に満ちたものとなっていきました。その声と各クラスの練習風景の様子から、「きっと素晴らしい合唱コンクールになる」と確信しました。

当日、私は審査員ということで体育館の中央よりやや後ろで各学年・クラスの演奏を聴かしてもらいました。その時の感想を書きます。

👁️1年生 1クラス27～28人と人数は少ないのですが、各クラスともよく声が出ていました。また初めての合唱コンクールであるにもかかわらず堂々と楽しそうに歌っていたのが印象的でした。3年生になった時が楽しみです。

👁️2年生 1年の時からずいぶん成長したなという印象です。1組も2組もしっかりしたハーモニーで特に男子の音が大人の声に近づき安定した歌声になっていると感じました。

👁️3年生 本当に甲乙つけがたい審査でした。両クラスとも迫力のある声量、ハーモニーの美しさはもちろんのこと一番感動させられたのは「最後の合唱コンクールにかける思い、クラスのまとまり」でした。さすが3年生の一言です。

このように本当に素晴らしい感動の合唱コンクールでした。生徒のみなさんありがとう。先生方ご苦労様でした。3年生の演奏の最後に、全員合唱が二曲披露されました。3年生の歌声を聴いて、表情を見て感動しました。最後の講評で「訴え（うったえ）」が変化して「歌（うた）」になったという話をしましたが、まさに3年生全員の最後の合唱コンクールにかける思いが歌声となっていました。1、2年生のみなさんもしっかりと聴いたことでしょう。来年、再来年同じような合唱ができるように頑張ってください。

